

平成23年度 後期 鹿児島県公立学校事務職員協会研究大会

(8月23日 会場：湖畔リゾートホテル いむた)

【研究討議テーマ】

①台風対策について

・台風接近時どのような対策をしているか、また実際あった台風被害をもとに気をつけるようになったこと等

②植物の植え替え時の再利用について

・種子の回収方法や時期、プランター上の再生方法等

③スズメバチ捕獲ペットボトルの紹介と作成方法

・作成方法の紹介

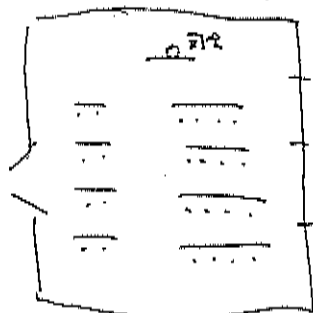
④自由討議

・討議テーマを設けずに情報交換
・来年度の研修について

現年研会

22/27

巻10



スズメバチ捕獲器の作り方

材料(捕獲器1個あたり)

2リットルの空のペットボトル

酒→300ミリリットル

(料理酒や賞味期限切れの酒、焼酎、ワインでもよい)

酢→100ミリリットル

砂糖→125グラム

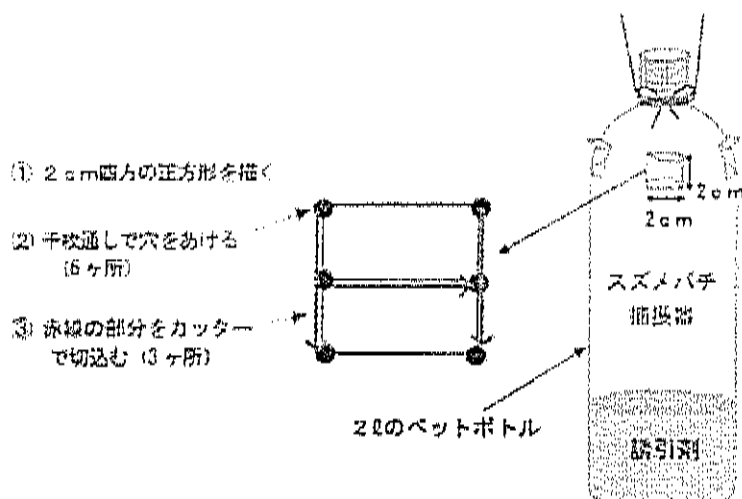
捕獲器の作り方

2リットルのペットボトルの上部に2cm四方の穴を4ヶ所あける。

穴のあけ方は、あらかじめ油性ペンで2cm四方の正方形を描き、下図のように6箇所にて千枚通しで穴をあけ、カッターナイフで「H」字状に3ヶ所を切り込みます。

(切り込むときはけがをしないよう十分注意してください。)

切り込んだところの下部をペットボトルの内側へ、上部を外側へしっかり直角に折り曲げます。



誘引剤の作り方

注ぎ口がついた鍋ややかんに、酒:300ミリリットル、酢:100ミリリットル、砂糖:125グラムを入れよく混ぜます。

捕獲器の設置方法と場所

誘引剤を捕獲器に入れます。(注意:捕獲器には穴があいていますので、傾けて入れるとこぼれてしまいます。じょうごを使用すると入れやすいです。)

設置場所は、樹木の直射日光が当たらないところにビニール紐でつるします。

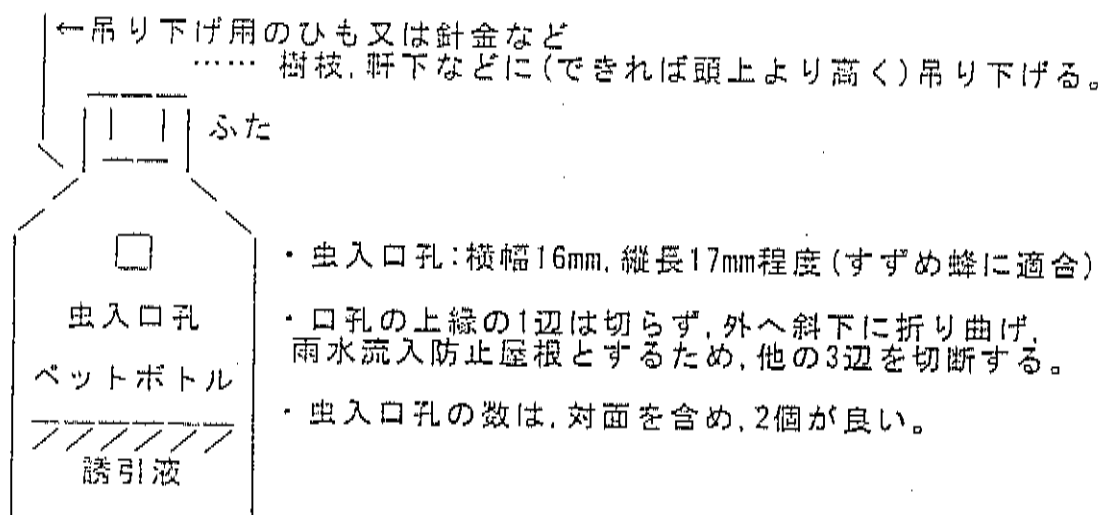
子供が触ることのできないように地上2から3mくらいに設置しましょう。

捕獲器に油性ペンで「スズメバチ捕獲中」等の注意を書きましょう。

スズメバチ等有害成虫駆除〈ペットボトル捕獲器の製作〉

● 多くの場所に設置すればするほど捕獲効果大きい

1 構造 < ペットボトルを利用 > 安全・安価・好成績



2 誘引液(例: 500ccペットボトル利用の場合。大容器では比例増量を)

- ・日本酒 …… アルコール13~16度の清酒(例: 180cc=1合)
- ・食酢 …… 日本酒量の1/6~1/7(例: 25cc)
- ・砂糖 …… 日本酒量の1/5程度(例: 35g)

の3種混合液。これは、天然の酵母菌(イースト菌)により樹液が発酵し、甘酸っぱい香り、濃い、虫類が好んで群がっている山野樹液に近い。捕獲器の虫入口孔から入った蜂などの虫は満腹(酔っぱらう)溺死。虫の死骸が溜まり過ぎるので、誘引液をこぼさないようにしながら、時々排出しよう。

3 誘引液の補給

誘引液減少時は、単に砂糖と水だけを投入。例えば、氷砂糖(1片が約1x1.5x2cm角=約3g)を10片=30gと、水90cc=コップ約半分との割合で糖度約25%の砂糖水となってゆく。割合は大きざっぱで可。虫に付着して来た天然の酵母菌により、砂糖水 → アルコール発酵。雑菌により、アルコール(一部) → 酢へ変化。

4 参考 酵母菌(イースト菌)活動条件

- ・発酵活動の最適糖濃度(重量比): 24±2%前後
- ・ " 最適温度: 18~26°C(酒造では雑菌抑制のため18°C以下)
- ・ " 休眠温度: 10°C以下
- ・死滅温度: 約45°C超